PRIDE OF NARA

弛まず、揺るぎない精神で地域を現場を支える〝奈良人〟

とらい・あんぐるグループ 代表取締役社長 田中 英俊氏 に聞く

気持ちを共有し、介護の質向上へ

すべての人が笑顔で暮らせるように

とらい・あんぐるグループ（桜井市外山）は、少子高齢化が進む中で平成12年介護保険制度が導入されたのを契機に、平成14年11月認知症のある人のためのグループホーム花水木を開設した。現在、県内にグループホーム、デイサービスセンター、住宅型有料老人ホーム、訪問介護・看護ステーション、居宅介護支援事務所、福祉用具貸与販売、放課後等児童デイサービス、フリースクール、ほか社福保育園など新施設も含め17拠点を有する。「すべての人が笑顔で暮らせるように」を理念に、コロナ禍にあっても福祉・介護の現場を支え続ける同グループの田中英俊代表取締役社長にお話をうかがった。

介護サービスは低価格で

―介護事業を行う使命感、そのルーツは。

私は大学卒業後21年間、警察職員として勤めていました。警察官ではなく、一般職員と呼ばれる事務を行う仕事ではありましたが、公務員生活では、市民の安全・安心が最重要となります。厳しい労働環境下で働いてきました。市民の役に立ちたいというのが私の基本となっています。

介護もお金が掛かる時代ですが、一般市民のことを考えたときに低価格に重きを置きたいと考えてきました。介護業界は利用料金が高く、特に施設利用料が高いです。介護保険はどこを利用しても同じ値段ですが、食事・部屋代は県内でも当グループが一番安いと思います。平成14年に介護事業をスタートした際は、介護保険制度が導入されて2年目。当時、介護施設はほとんどありませんでした。奈良市内でグループホームを始めましたが、当初から利用料金は安く設定していました。黒字経営だから安くできるという面もありますが、施設を作るとすぐに満床になります。

当グループの理念は〝すべての人が笑顔で暮らせるように〟です。利用者の中には生活保護受給者や国民年金を入れても月5万円という方、子どもが遠方にいて親は田舎で一人でという方など様々な事情を抱えた人がいらっしゃいます。その人たちも例外なく認知症になります。自分自身のかと感じる部分があります。

一般の人は、ほとんどの方が介護保険制度を理解してないし、親が認知症で問題行動があればどうすれば良いかも分からない状態にあると思います。当グループは、入所対象でない見学者においても、まず話を聞き、民生委員、病院の紹介、ご家族へのアドバイスを行います。事業に直接結びつかずとも指導をする姿勢です。これは、警察職員として勤めていたことが私の原点になっているからだと思います。

コロナ対策の設計を取り入れた住宅型有料老人ホームこころぷらす天理櫟本2号館＝天理市櫟本町

放課後デイと介護施設が併設する9月オープン予定の田原本町新施設＝田原本町八尾

レクリエーションを中心に利用者に刺激を与え認知症の介護に取り組む

問われる介護の質

―介護スタッフの労働環境について。

低価格だからこそ、介護の質が問われます。外部の人は介護の本質までは見てくれませんが、スタッフの言葉遣いや対応の仕方など目に見える些細な部分も細かく指導しています。利用料金が安いからこそ、介護への姿勢を大事にしなければなりません。

我々は税金をいただいて収入にしています。コンプライアンスが求められ、法令違反は絶対にしてはいけません。設立当時から（公財）介護労働安定センター主催のセミナーを受講させていただいたり、各種助成金をいただいたりとサポートもいただきました。また、社会保険労務士の紹介や労働基準法に従ったスタッフの雇用管理改善、能力開発・向上等、先を見据えスタッフが安定した労働環境で働けるよう取り組みを行っています。

〝すべての人が笑顔で暮らせるように〟。介護の質を向上させるため、利用者、スタッフに対して次の取り組みを実施しています。①利用者家族、スタッフ全員に対しての社長直通アンケートを実施。どんな些細なことでも声を拾っていきたいと考えています。②健康保険対象者におけるの退職金制度の導入。②パートも含む年4回のボーナス支給。③例月給料の処遇改善手当Ⅱ及びボーナスの管理者による評価査定制度の導入。各事業所の管理者が頑張ったスタッフを毎月の給与時と年4回のボーナス時に評価査定します。これは労働の質向上に直結します。④フレンドシップ制度。知人を労働者として紹介すると、6か月と12か月経過時点で紹介者と労働者に商品券を1万5千円ずつ配布します。⑤なんでやねん！カードの配布。匿名提出可能で、事業所内でのスタッフのいじめや業務や介護での困りごとなどの解決に効果がありました。人間関係で辞めてしまうスタッフも多いため、人材不足が深刻化する介護業界においてスタッフの定着化は必要不可欠です。⑥コロナ慰労金を最大2万円支給。⑦携帯用手指消毒をスタッフ全員に配布。⑧現場第一主義による事務集中処理。当グループの事務を本部7人体制で徹底管理しています。これにより、現場は管理者含めデスクワークをせずに利用者と向き合う時間を最大限確保できます。7人中2人は介護資格保有者のため、管理者を管理するため現場指導も行います。⑧若手職員の幹部職員登用。2年目で管理者となったスタッフもおり、個人のやる気を大事にし、責任ある立場で指導し育てていきたいと考えています。⑨キャリアアップの最終は、経営者へ。スタッフを独立させ、バックアップしています。そのために、経営者としての指導も行っています。田原本町の新施設の一部は新経営者にお願いしています。その他にも、時給アップや時給決定過程での評価制度の導入、シングル家庭へは家賃補助等を実施しています。

統括本部スタッフで事務集中管理

雇用環境の整備と評価が、気持ちの共有につながる

―組織運営で大切にしていることは。

組織運営において、スタッフとの気持ちの共有が何より大切と考えています。これは、冒頭でお話した警察で働いていた経験が大きく作用しています。スタッフが300人以上となると、気持ちの共有は非常に難しいです。気持ちをもって仕事をしてくれる人を毎日少しでも増やせればとの思いで、雇用環境を整備し、金銭面でサポートすることが経営者にできることと考えます。そうして、こちらの気持ちがスタッフに伝われば、スタッフも気持ちを返してくれると思っています。

また、管理者教育は当社の一番大事なポイントになってくると思います。事業所の長なので、管理者をしっかり教育し引き上げれば、グループの方針を下にまで浸透させることができます。幹部職員として人を評価する場合、部下職員を横に見るのではなく、縦に見て評価することが大事であると考えます。つまり、誰かと比較しての評価ではなく、その人がどのように成長したかを見て評価するということです。介護は対〝人〟です。気持ちを共有し、機を高め、介護の質を向上させていきたいと考えています。

そして、当グループは来年20周年を迎えます。この考えを次代へ繋ぐべく経営者を育てていきたいです。最終的に気持ちを大切にしたいので、今年はスタッフの気持ちを育てる年にしたいと思っています。

各事業所・管理者のための教育研修を実施

コロナを機会に求められる介護業界の変化

―withコロナへの取り組みは。

コロナにより社会が変わりつつあります。介護の世界にもwithコロナの考え方は必要です。我々が心を痛めている大きな問題の一つに、面会ができないということがあります。第3波でまた完全に面会は禁止となりましたが、2波のコロナが落ち着いていた頃に、当施設では一度ご家族と会っていただきました。ご家族の中には親を心の支えにしている方も多くいらっしゃいます。ですから、面会室を今年以降、徐々に作っていきたいと考えています。絶対にコロナに移らないようにするという考え方は大事ですが、〝人〟を扱っているので、家族との面会をさせてあげたいとの思いを強くもっています。

新しい天理の施設は、コロナ対策として1階部分の3室を遮断できるよう廊下に仕切りを設けました。経営者目線でコロナとどう向き合うか真剣に考えていかなければなりません。ご家族が寂しい思いをされているのはよく分かります。コロナを機会に時代に合わせて介護が変わる必要性をスタッフと共有し、他の施設ではできないことに取り組んでいきたいと考えます。何がなんでも利用者のためにとの思いです。

就労準備型の放課後デイで人材育成から社会へ

―今後の展望は。

当グループは、榛原で放課後デイサービスの事業を展開しています。それを今度、田原本町で放課後デイと介護施設を併設し、障害をもつ高校生の子どもたちに向け、実践的な介護を勉強してもらい、就労準備型として展開したいと考えています。介護人材は外国人労働者に頼っている現状がありますが、今回の田原本町の施設では障害をもった生徒さんが介護士として将来的に生活が出来るようにしたいし、他の介護事業者へ送り出すということを一つの目玉にしています。掃除、洗濯から始まり、人との付き合いがある程度できるのであれば、ヘルパーとして人材を育てていきたいとの思いです。介護も警察も同じですが、チームワークで仕事をするにあたり、人間には強みと弱みがあります。障害をもつ人に対して、障害を特色として受け入れ、皆でカバーしていけないかと考えます。県下の養護学校とも連携し、障害をもつ子どもたちをしっかりと支援し、社会へ送り出していきたいです。気持ちを植え付けることは難しいかもしれませんが、仕事として障害をもつ子どもたちの今後をどのように考えていくかが重要です。

対〝人〟という面において全ての取り組みは通じるものがあります。グループ全体が繁栄し、利用者もスタッフも全ての人が笑顔で暮らせるような、事業展開を引き続き取り組んでまいります。障害を持つ子どもたちにはすてきなみらいを…、介護においては、長寿を心から喜べる社会の実現を…と考えております。

躍進続ける とらい・あんぐるグループ

社会福祉法人 はなぶさ福祉会 しらゆり保育園 〒633-0241 宇陀市榛原下井足1538-1 ☎0745-82-6300

デイサービスセンター はなぶさ / リハビリデイシルバー 元気倶楽部 〒636-0247 磯城郡田原本町阪手626-1 ☎0744-32-6680

訪問介護 介護ステーション ミルキーウェイ / 福祉用具貸与販売 ケアレンタル はなことば 〒633-0007 桜井市外山1661 ☎0744-42-1600

住宅型有料老人ホーム 介護の森 奈良（デイ併設） 〒630-8424 奈良市古市町1697-1 ☎0742-63-3015

住宅型有料老人ホーム こころぷらす 奈良中央 〒636-0246 磯城郡田原本町千代587-1 ☎0744-32-8626

住宅型有料老人ホーム こころぷらす 天理櫟本（デイ併設） / 訪問看護ステーション TSUBASA（つばさ） 〒632-0004 天理市櫟本町2947-1 ☎0743-61-5667

グループホーム 花 水 木 〒630-8424 奈良市古市町2157-5 ☎0742-61-5556

住宅型有料老人ホーム 介護の森 田原本三笠（デイ併設） 〒636-0342 磯城郡田原本町三笠31-7 ☎0744-47-4014

住宅型有料老人ホーム こころぷらす 高田（デイ併設） 〒635-0011 大和高田市材木町7-1 ☎0745-21-5230

グループホーム 葵 〒636-0246 磯城郡田原本町千代839-16 ☎0744-33-3222

住宅型有料老人ホーム 介護の森 西大和（デイ併設） 〒636-0003 北葛城郡王寺町久度3-1-12 ☎0745-31-2775

居宅介護支援事業所 ケアプランセンター かいごの窓口 〒636-0246 磯城郡田原本町千代818-1-320 ☎0744-48-0133

デイサービスセンター 和 〒636-0246 磯城郡田原本町千代818-1 ☎0744-33-1758

放課後等児童デイサービス かがやキッズ / フリースクール みらいのもり学園 〒633-0257 宇陀市榛原榛見が丘1-14-20 ☎0745-82-8686

住宅型有料老人ホーム こころぷらす 桜井（デイ併設） 〒633-0067 桜井市大福296 ☎0744-43-2700

住宅型有料老人ホーム こころぷらす 橿原（デイ併設） 〒634-0008 橿原市十市町1181-1 ☎0744-29-7070

http://www.spirit-care.co.jp
とらい・あんぐる 検索